

AXIS 262+ ネットワークビデオレコーダー ユーザーズマニュアル

2007 年 1 月発行 第 1 版

アクシスコミュニケーションズ株式会社
R1.0

安全のために

本製品を安全にご利用頂くために、以下の事項を必ず守ってください。これらの事項が守られていない場合、感電、けが、火災、故障などの原因になります。

表示の意味は以下のとおりです。内容をよく理解してから本文をお読みください。

警告！ データの消失やお使いの機器への損害を避けるために注意して読む必要があります。

重要： 操作上の損害を避けるために注意して読む必要があります。

 **警告** この表示の注意事項を守らないと、火災、感電などにより死亡や大けがなど人身事故の原因となります。

 **注意** この表示の注意事項を守らないと、感電やその他の事故によりけがをしたり、データや通信の消失、物的損害の発生する可能性があります。

異常時の処理について

 **警告** 万一、内部に水などが入った場合は、電源アダプタ本体をコンセントから抜いて販売店にご連絡ください。そのまま使用すると火災、感電、故障の原因となります。

万一、内部に異物が入った場合は、電源アダプタ本体をコンセントから抜いて販売店にご連絡ください。そのまま使用すると火災、感電、故障の原因となります。

万一、煙が出ている、異臭がするなどの異常状態のまま使用すると火災、感電、故障の原因となります。すぐに電源アダプタ本体をコンセントから抜き、煙が出なくなるのを確認して販売店に修理をご依頼ください。お客様による修理は危険ですから絶対におやめください。

万一、本装置を落としたり、ケースを破損した場合は、電源アダプタ本体をコンセントから抜いて、販売店にご連絡ください。そのまま使用すると火災、感電、故障の原因となります。

電源コードが痛んだら（芯線の露出、断線など）販売店に交換をご依頼ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。

取り扱いについて

⚠ 警告

本装置に水が入ったりしないよう、またぬらさないようにご注意ください。火災、感電、故障の原因となります。

本装置の上や近くに花びん、植木鉢、コップ、化粧品、薬品や水などの入った容器または小さな金属物を置かないでください。こぼれたり中に入った場合、火災、感電、故障の原因となります。

弊社の指示がない限り、本装置を分解、改造しないでください。火災、感電、故障の原因となります。

弊社の指示がない限り、本装置のケースを外さないでください。電源部や内部に触れると火傷、感電、故障の原因となります。

ぬれた手で本装置を操作しないでください。火災、感電、故障の原因となります。

⚠ 注意

移動させる場合は、電源アダプタをコンセントから抜き、回線コードなど外部の接続線はずしたことを確認の上、行ってください。コードが傷つき火災、感電の原因となることがあります。

電源について

⚠ 警告

表示された電源電圧以外の電圧で使用しないでください。火災、感電、故障の原因となります。

電源アダプタはコンセントに確実に差し込んでください。電源アダプタ(プラグ)の刃に金属などが触れると火災・感電の原因となります。

ぬれた手で電源アダプタを抜き差ししないでください。感電の原因となります。

タコ足配線はしないでください。火災、過熱の原因となります。

電源コードを傷つけたり、破損したり、加工したり、無理にまげたり、ねじったりしないでください。重いものをのせたり、加熱したり、引っ張ったりすると電源コードが破損し、火災、感電の原因になります。

近くに雷が発生したときは、電源アダプタや接続ケーブルなどを抜いてご使用をお控えください。雷によっては火災、感電、故障の原因となります。

⚠ 注意

電源アダプタを抜くときは、必ず電源アダプタ本体を持ってぬいてください。電源コードを引っ張るとコードが傷ついて火災、感電の原因となることがあります。

電源コードを熱器具に近付けないでください。コードの被覆が溶けて火災、感電の原因となることがあります。

設置場所について



注意

直射日光の当たるところや温度の高いところに置かないでください。内部の温度が上がり、火災の原因となることがあります。

湿気やほこりの多い場所に置かないでください。火災、感電、故障の原因となることがあります。

調理台や加湿器のそばなど油煙や湯気があたるような場所には置かないでください。火災、感電、故障の原因となることがあります。

ぐらついた台の上や傾いた所など不安定な場所に置かないでください。落ちたり、倒れたりして、けがの原因となることがあります。

振動、衝撃の多い場所に置かないでください。落ちたり、倒れたりして、けがの原因となることがあります。

お手入れについて

お手入れの際は安全のために電源アダプタをコンセントから抜いて行ってください。



注意

アルコール、ベンジン、シンナーなど、揮発性のものは使わないでください。変色、変形、変質や故障の原因となります。

静電気集塵型化学ぞうきんは絶対に使わないでください。故障の原因となります。

年に一度は電源コードを抜き、プラグおよびコンセントに付着しているゴミ、ホコリ等を取り除いてください。

このマニュアルについて

このマニュアルは、製品ソフトウェア（ファームウェア）バージョン 4.01 以降を搭載した AXIS 262+ をご利用の管理者またはユーザを対象としています。このマニュアルには、お使いのネットワーク上で AXIS 262+ の設定、管理を行うための手順が含まれています。

必要に応じて、内容を更新したマニュアルをアクシスコミュニケーションズ株式会社（以下、Axis）のホームページで公開することがあります。

知的財産所有権

本製品には、ライセンスされたサードパーティ製のソフトウェアが含まれています。詳しくは、本製品の内部 Web ページ（[セットアップ] - [製品について]）を参照してください。

法律上の注意事項

ビデオの録画は法律によって禁止されている場合があります、その内容は国によって異なります。本製品を監視用途でご利用になる前に、ご利用頂く地域の法律を確認してください。

電波に関する適合性（EMC）

本装置は無線周波数を発生、使用、放射するため、指示通りにインストールおよび使用されていない場合は、無線通信に有害な混信を招く恐れがあります。ただし、特定のインストールにおいて妨害が生じないという保証はありません。

本装置がラジオおよびテレビ受信機に対して有害な混信を招き、本装置の電源の入 / 切を行うことによって本装置が原因であると確認できた場合は、次の 1 つまたはそれ以上の措置に従って混信を正すようにしてください：受信アンテナの方向を修正または再配置を行う。本装置と受信機の間隔を広げる。本装置を、受信機が接続されているものとは異なる電源に接続する。販売店または経験を積んだラジオ / テレビ技術者に相談する。EMC 基準への準拠を満たすには、本装置とともにシールド付きツイストペア（STP）ネットワークケーブルを使用する必要があります。

欧州 -  This digital equipment fulfills the requirements for radiated emission according to limit B of EN55022/1998, and the requirements for immunity according to EN55024/1998 residential, commercial, and light industry.

日本 - この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づくクラス B 情報装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。取扱説明書に従って正しい取り扱いをして下さい。

責任

Axis は、このマニュアルの技術的、印刷上の誤りについて、一切の責任を負いません。また Axis は、予告なく製品やマニュアルの記載内容に対して変更、修正を行うことがあり、将来にわたるいかなる約束を表明するものではありません。Axis は、Axis 製品およびソフトウェアの使用の結果に生じた、偶発的な損害および間接的な損害、またこれらに付随する事業上の利益の損失、データの喪失、その他使用に起因して生じるいかなる損害に対しても責任を負いません。Axis は、このマニュアルに含まれる記述、製品の商業価値および製品の特定用途に対する適合性について、明示的または黙示的な保証を一切いたしません。また、ハードディスクの故障によるデータの消失について一切の責任を負いません。

本製品をご使用いただく前の注意

- 正しい電圧（12V DC）で使用してください。他の電圧で使用すると、火災・感電を引き起こす原因となります。
- 本製品は UPS（無停電電源装置）と併用することをお勧めします。
- 本製品は精密機器ですので、取り扱いには十分ご注意ください。振動や衝撃を与えると故障の原因となることがあります。本製品を輸送する場合は、購入時に使用されていた梱包材を使用するようにしてください。
- 本製品の移動は、電源を落とした後、30 秒以上たってから行ってください。ハードディスクの故障の原因となります。
- 本製品を水にぬらしたり、湿気の多い場所で使用しないでください。火災・感電を引き起こす原因となります。製品内部に水が入った場合は、電源を抜いて販売店までご連絡ください。
- 長時間ご使用にならない場合は、電源コードのプラグを抜いてください。

- ケースを開けたり、また内部の部品に触れたりしないでください。
- 本製品の設置場所にご注意ください。振動、衝撃のあるところ、直射日光の当たるところ、引火性ガスや腐食性ガスのあるところ、動作環境の範囲外となる高温または低温の環境などに設置しないでください。本製品は屋内専用です。
- 本製品を長くお使いいただくためにも、動作環境は 40 °C 以下に保つようにしてください。
- 動作環境が 5 °C 以下の場合は、本製品の電源を常に入れたままの状態にしてください。

商標

Acrobat、Adobe、Linux、Macintosh、Microsoft、Mozilla、Netscape Navigator、Windows、WWW は各社の登録商標です。Java およびすべての Java 関連の商標およびロゴは、米国およびその他の国における米国 Sun Microsystems Inc. の商標または登録商標です。

WEEE Directive

The European Union has enacted a Directive 2002/96/EC on Waste Electrical and Electronic Equipment (WEEE Directive). This directive is applicable in the European Union member states.



The WEEE marking on this product (see right) or its documentation indicates that the product must not be disposed of together with household waste. To prevent possible harm to human health and/or the environment, the product must be disposed of in an approved and environmentally safe recycling process. For further information on how to dispose of this product correctly, contact the product supplier, or the local authority responsible for waste disposal in your area.

Business users should contact the product supplier for information on how to dispose of this product correctly. This product should not be mixed with other commercial waste.

サポートサービス

インターネットがご利用になれる場合は、技術サポート情報、更新された製品ソフトウェア（ファームウェア）、ユーティリティソフトウェア、会社情報など、下記のアドレスからご覧頂けます。

<http://www.axiscom.co.jp/>

その他

このマニュアルの制作には細心の注意を払っておりますが、不正確な記述や脱落、乱丁または落丁を見つけられた場合は、info@axiscom.co.jp までご連絡ください。

AXIS 262+ ユーザーズマニュアル

第 1 版 (R1.0)

Copyright © アクシスコミュニケーションズ株式会社、2007

2007 年 1 月発行

目次

製品の概要	9
AXIS 262+ フロントパネル	10
AXIS 262+ リアパネル	11
AXIS 262+ にアクセスする	12
インストール	12
ネットワークビデオレコーダーにアクセスする	12
メイン画面	13
基本操作	14
セットアップツールへのアクセス	14
新しいユーザの作成	14
カメラの追加	16
メイン画面の設定	18
1 画面表示	18
4 画面表示	19
自動切換	20
フレームレート	21
ライブビデオ	21
録画	21
ビデオの録画	23
スケジュール録画	23
アラーム録画	25
手動録画	28
ビデオの再生	29
再生設定	29
日付と時刻を利用した再生	29
アラーム一覧を利用した再生	30
録画データをコンピュータに保存する	31
ハードディスク	33
容量	33
ハードディスクの交換	33

システムオプション	35
日付 & 時刻	35
ネットワーク TCP/IP	36
SMTP（電子メール）	37
メンテナンス	38
ログ & レポート	38
トラブルシューティング	39
AXIS 262+ をリセットする	39
ファームウェアのアップグレード	40
インターネット経由で AXIS 262+ にアクセスする場合	41
サポート	41
症状、考えられる原因、および対処方法	42
交換部品	43
技術仕様	45

製品の概要

AXIS 262+ ネットワークビデオレコーダーは、Axis ネットワークカメラ / ビデオサーバと併用することによって包括的な監視ソリューションを提供します。万引きの摘発、アラームの誤動作の削減、個人の安全の強化、および自宅の状況の確認などをリモートで行うことができます。

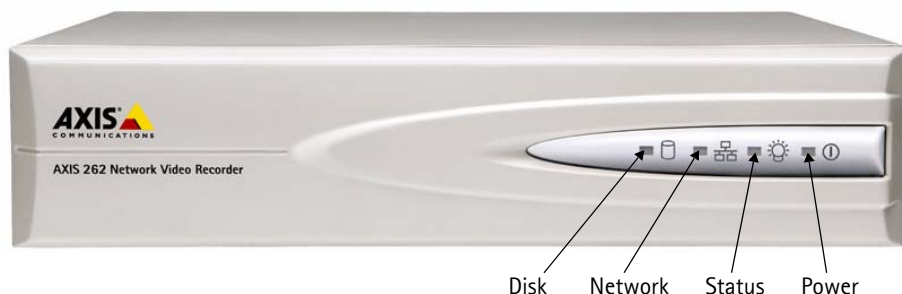
AXIS 262+ のインストールおよびその使用法は簡単です。AXIS 262+ はお使いのネットワークに直接接続するだけで、ローカルエリアネットワークまたはインターネットを経由してリモートで管理が可能な録画ソリューションとなります。また、同時録画やライブ画像へのリモートアクセス、さらに最大 8 台のカメラの録画画像を再生することができます。スケジュール録画やアラーム録画は、8 台のカメラの画像を同時に録画する場合、QVGA (320 × 240) および CIF (NTSC : 352 × 240、PAL : 352 × 288) の解像度で最大 240 フレーム / 秒、VGA (640 × 480) および 4CIF (NTSC : 704 × 480、PAL : 704 × 576) の解像度で最大 120 フレーム / 秒の録画スピードで動作します。

AXIS 262+ はメガピクセルのビデオを保存するのに理想的です。Axis ネットワークカメラまたはビデオサーバからのオリジナル画像と同じ画質を得られることから、ビデオ品質の劣化はありません。250 GB のハードディスクには、たとえば 8 チャンネルのビデオ映像を VGA (640 × 480) の解像度で 1 フレーム / 秒で録画を行った場合、約 13 日間分のデータを保存することができます。

AXIS 262+ の主な機能は以下のとおりです。

- 最大 8 台のカメラ、メガピクセルまでの解像度でビデオ録画が可能。
- インストール、使用法、管理が簡単。
- 同時録画、録画されたビデオへのリモートアクセス、ライブ画像の閲覧が可能。
- 合計 8 台のカメラの録画を同時に行った場合、VGA (640 × 480) および 4CIF (NTSC : 704 × 480、PAL : 704 × 576) で最大 120 フレーム / 秒の録画が可能。QVGA (320 × 240) および CIF (NTSC : 352 × 240、PAL : 352 × 288) の解像度で最大 240 フレーム / 秒の録画が可能。
- カメラからのアラーム、または AXIS 262+ のデジタル入力をトリガとした録画の開始が可能。
- フレームレートは、アラーム録画およびスケジュール録画でそれぞれ設定が可能。さらに、スケジュール録画では各ビデオソースに対して異なるフレームレートの設定が可能。
- 振動・衝撃を吸収する機構を備えた 250 GB ハードディスクを搭載。

AXIS 262+ フロントパネル

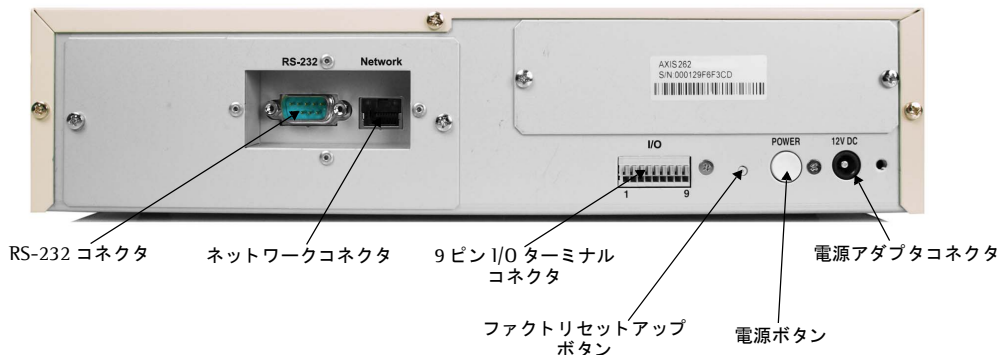


インディケータ - AXIS 262+ のフロントパネルに備えられているインディケータは、以下のように動作ステータスを表示します。

Disk	緑	ハードディスクにアクセスしているときに緑色で点滅します。
	赤	赤色で点灯している場合は、ファクトリデフォルト、ファームウェアアップグレード、またはデータベースの修復に失敗しているか、ハードディスクエラーが発生しています。 まずハードディスク上の必要な録画データをお使いのコンピュータに保存してから、AXIS 262+ を再起動してみてください。
Network	オレンジ	10 Mbps ネットワークに接続されている時にオレンジ色で点滅します。
	緑	100 Mbps ネットワークに接続されている時に緑色で点滅します。
	消灯	ネットワークに接続されていません。
Status	緑	正常動作時に緑色で点灯します。
	オレンジ	工場出荷時の状態にリセットしているときに、オレンジ色で点灯 / 点滅します。
	赤	赤色で点滅 (Disk インディケータは赤色で点灯) している場合は、ファクトリデフォルト、ファームウェアアップグレード、またはデータベースの修復に失敗しています。Status インディケータだけが赤色で点滅している場合は、データベースの修復中であることを示します。データベースの修復には、約 30 分かかる場合があります。本体内の温度が上がりすぎた場合、赤色で点灯します。
Power	緑	正常動作時に緑色で点灯します。
	オレンジ	ファームウェアのアップグレード中は、緑 / オレンジで点滅します。

注意 : AXIS 262+ は、起動時にインディケータのテストを行います。Status、Network、および Disk インディケータは赤色で 1 秒、Power インディケータはオレンジ色で 1 秒間点灯します。

AXIS 262+ リアパネル



RS-232 コネクタ - UPS（無停電電源装置）を接続するためのコネクタです。AXIS 262+ がサポートする UPS 機器は、APC 製 Smart-UPS です。

ネットワークコネクタ - 標準的なカテゴリ 5 ネットワークケーブルを使用して AXIS 262+ をお使いのネットワークに接続してください。

9 ピン I/O ターミナルコネクタ - 外部デバイスの接続に使用します。詳しくは、39 ページ「I/O ターミナルコネクタ」を参照してください。

ファクトリセットアップボタン - AXIS 262+ を工場出荷時の状態にリセットするときに使用します。リセットの手順について詳しくは、39 ページ「AXIS 262+ をリセットする」を参照してください。

電源ボタン - AXIS 262+ を正しくシャットダウンするには、ビーッと音が鳴るまで電源ボタンを押し続けてください。シャットダウンは約 20 秒後に完了します。もう一度電源ボタンを押すと、AXIS 262+ が起動します。

電源アダプタコネクタ - 付属の電源アダプタを接続するためのコネクタです。電源ケーブルをコンセントに接続して通電すると、AXIS 262+ は自動的に起動します。

重要！

- AXIS 262+ が起動しているときは、絶対に電源ケーブルを抜かないでください。
- AXIS 262+ の電源を切るときは、電源ボタンを使用してください。

AXIS 262+ にアクセスする

インストール

AXIS 262+ にアクセスする前に、お使いのネットワークにまず AXIS 262+ をインストールする必要があります。詳しくは、付属のインストールガイドを参照してください。

ネットワークビデオレコーダーにアクセスする

AXIS 262+ は Windows XP Professional (Service Pack 2) 上で動作する Microsoft Internet Explorer 6.0 以上に対応しています。最新の情報については、<http://www.axiscom.co.jp/> をご覧ください。

1. Web ブラウザを起動します。
2. ブラウザの [アドレス] フィールドに、AXIS 262+ に設定した IP アドレスを入力して Enter キーを押します。
3. ネットワーク管理者によって設定されたユーザ名とパスワードを入力します(デフォルトのユーザ名は *root*、パスワードは *pass* に設定されています)。
4. Web ブラウザに AXIS 262+ のメイン画面が表示されます。

The screenshot shows the main interface of the AXIS 262+ Network Video Recorder. The interface is divided into several sections:

- 映像表示部 (Video Display Section):** Located on the left, it displays four live video feeds from different cameras. The feeds are labeled: AXIS210, AXIS 225FD, AXIS 232D, and AXIS211.
- 映像操作部 (Video Control Section):** Located below the video feeds, it contains playback controls such as stop, previous, play, next, and live view buttons.
- マルチ操作部 (Multi-control Section):** Located at the bottom, it contains a grid of buttons for various functions like zoom, pan, and preset.
- カメラ情報部 (Camera Information Section):** Located on the right, it contains a table with camera details.
- 情報操作部 (Information Control Section):** Located below the camera information table, it contains a calendar and time selection controls.
- リンク (Links):** At the top right, there are links for "セットアップツールへのリンク" (Link to Setup Tool) and "オンラインヘルプへのリンク" (Link to Online Help).

※カメラが1台も登録されていない時は、その旨のエラーメッセージが表示されます。

Camera name	Rec starting date	Alarm
01	AXIS210	-
02	AXIS 225FD	-
03	AXIS 232D	2006-10-04
04	AXIS211	2006-10-05

- 注意：**
- Internet Explorer で AXIS 262+ の画像を閲覧するには、ブラウザの設定で ActiveX コントロールを許可してお使いのコンピュータに AXIS 262+ Commander をインストールする必要があります。
 - メイン画面で使用される言語、および日付と時刻は、お使いのコンピュータの設定（[コントロールパネル] - [地域と言語のオプション]）に基づいて表示されます。
 - カメラの特定の機能（パン / チルト / ズーム、音声など）にアクセスする場合は、[カメラリンク] ボタン  をクリックして選択しているカメラの内部 Web ページにアクセスしてください。

メイン画面

メイン画面に表示されるボタンおよびタブの概要について説明します。



セットアップツール - AXIS 262+ の設定ページを表示します。



時刻検索 - カレンダーから日付を選択して録画したビデオを検索することができます。



アラーム一覧 - アラーム録画が一覧で表示されます。一覧から録画を選択して再生することができます。詳しくは、30 ページ「アラーム一覧を利用した再生」を参照してください。



ダウンロード - 録画したビデオをお使いのコンピュータのハードディスクに保存します。詳しくは、31 ページ「録画データをコンピュータに保存する」を参照してください。



1画面/4画面 - 1台のカメラからの画像、または4台のカメラからの画像を表示します。



同期 - 4台のカメラの画像を同期して再生します。たとえば、ある特定の時刻に4台のカメラでそれぞれ録画されたビデオを確認する場合などに便利です。



ライブ - ライブ画像を表示します。



カメラ選択 - カメラのステータスを確認したり、手動録画の開始 / 停止を行うことができます。詳しくは、28 ページ「手動録画」を参照してください。



4画面パターン - 現在設定されている表示パターンの一覧から、使用するパターンを選択することができます。詳しくは、19 ページ「4画面表示」を参照してください。



カメラリンク - 現在選択しているカメラの内部 Web ページにアクセスします。カメラの特定の機能（パン / チルト / ズーム、音声など）の設定を行う場合は、このボタンをクリックしてカメラの設定ページにアクセスしてください。

基本操作

AXIS 262+ の設定方法について説明します。この章は、AXIS 262+ のセットアップツールにアクセス可能な管理者向けとなっています。

セットアップツールへのアクセス

以下の手順にしたがって、AXIS 262+ のセットアップツールにアクセスしてください。

1. Web ブラウザを起動します。ブラウザの[アドレス] フィールドに AXIS 262+ に設定した IP アドレスを入力して Enter キーを押します。
2. メイン画面が表示されます。画面上部の をクリックしてセットアップツールにアクセスしてください。



パスワードの変更

不正な使用を防ぐためにも、AXIS 262+ に最初にログオンしたときに管理者用ユーザ (root) のデフォルトのパスワードを変更するようにしてください。

注意： 管理者用ユーザの名前は root に設定されており、変更したり削除したりすることはできません。

1. メイン画面上部の をクリックし、続いて左側のリンクから [システムオプション] - [ユーザ] をクリックします。
2. [ユーザ番号] で「1」が選択されていること、[ユーザ名称] に「root」が表示されていることを確認します。[パスワード] に新しいパスワードを入力し、[パスワード (確認)] に同じパスワードを入力します。
3. [設定] ボタンをクリックします。

新しいユーザの作成

ユーザアクセスのコントロールはデフォルトで有効に設定されています。管理者 (root) ユーザは、ユーザの名前とパスワードを設定することができます (最大 50 名、root ユーザを含む)。また、匿名ユーザアクセスの許可を行うことにより、パスワードの入力を行わずにメイン画面にアクセスして映像の閲覧ができるようにすることもできます (ただし、Administrator 権限が必要な項目へのユーザ認証を無効にすることはできません)。ユーザ権限には、以下の 3 種類があります。

Viewer	最も低いアクセス権で、メイン画面にだけアクセスすることができます。メイン画面では、録画以外の操作をすべて行うことができます。
Operator	メイン画面にアクセスして手動録画を行うことができますが、セットアップページにはアクセスできません。
Administrator	セットアップページのすべての設定項目に対してアクセスが可能で、ユーザの登録を行うことができます。

注意： AXIS 262+ では Administrator 権限を持つユーザは 1 つしか登録できません。root ユーザがあらかじめ定義されているため、Administrator 権限を持つ新しいユーザを作成することはできません。

以下の手順にしたがって、新しいユーザ（Operator または Viewer）を作成してください。

1. メイン画面上部の  をクリックし、続いて左側のリンクから [システムオプション] - [ユーザ] をクリックします。
2. [ユーザ番号] ドロップダウンリストから未使用の番号を選択します。
3. [ユーザ名称] にユーザ名を入力します。ユーザ名は、最大 8 文字までの半角英数字で設定してください。
4. [権限] からユーザに割り当てる権限（Operator または Viewer）を選択します。
5. [パスワード] および [パスワード（確認）] にパスワードを入力します。パスワードは、最大 8 文字までの半角英数字で設定してください。
6. [設定] ボタンをクリックします。
7. すべてのユーザに対してビデオストリームへの閲覧を許可する場合は、[匿名アクセスの許可（Viewer）] オプションから ON を選択します。デフォルトでは、このオプションは OFF に設定されています。
8. [設定] ボタンをクリックします。



AXIS 262+ Network Video Recorder

ユーザ

番号	ユーザ名	権限
1	root	Administrator
2		
3		
4		
5		
6		
7		
8		
9		

ユーザ番号: 1

ユーザ設定

ユーザ名称: root

権限: Administrator

パスワード:

パスワード(確認):

備考:

設定 削除

ユーザ認証

匿名アクセスの許可(Viewer): ☐ OFF ☐ ON

設定

1. 未使用の番号を選択します。
2. ユーザ名を入力します。
3. ユーザに与える権限を選択します。
4. AXIS 262+ のログオン時に使用するパスワードを入力します。
5. [設定] ボタンをクリックします。

すべてのユーザが画像を閲覧できるようにする場合は、[匿名アクセスの許可（Viewer）] オプションで ON を選択してください。

ユーザの削除

1. ユーザを削除する場合は、[ユーザ番号] から削除するユーザの番号を選択します。選択したユーザの設定内容が表示されます。
2. [削除] をクリックしてください。

カメラの追加

AXIS 262+ には、最大 8 台までの Axis ネットワークカメラ / ビデオサーバを追加することができます。カメラの追加または削除を行った場合、AXIS 262+ に登録されているカメラの録画が最大で約 10 分間停止します。さらに、カメラを追加した場合は、追加したカメラの画像がメイン画面に表示されるまでに 1 分程かかることがあります。

以下の手順にしたがって、AXIS 262+ にカメラを追加してください。

1. メイン画面上部の  をクリックし、続いて左側のリンクから [カメラオプション] - [カメラ] をクリックします。
2. [カメラ番号] ドロップダウンリストから未使用の番号を選択します。
3. [カメラ名称] にカメラ名を入力します。カメラ名は、最大 32 文字までの半角英数字で設定してください。ただし、以下の記号類は使用できません。
\"/>- 4. Axis ビデオサーバに接続されているカメラを追加する場合は、[ビデオサーバ入力] からカメラが接続されているポートを選択します。ネットワークカメラの場合は、「1」のままで構いません。
- 5. [IP アドレス] にカメラまたはビデオサーバの IP アドレスを入力します。
- 6. カメラ / ビデオサーバへのアクセスにユーザ名とパスワードを要求する（カメラ / ビデオサーバの設定で匿名アクセスが無効になっている）場合は、[ユーザ認証] オプションから ON を選択してください。
- 7. [ユーザ認証] オプションで ON を選択した場合は、[ユーザ ID] と [パスワード] にカメラ / ビデオサーバで設定されているユーザ名とパスワードを入力します。
- 8. 必要に応じて [備考] にコメントを追加し、[設定] ボタンをクリックします。


AXIS 262+ Network Video Recorder
[メイン画面](#) | [セットアップ](#) | [ヘルプ](#)

カメラオプション
 カメラ
 ライブレート

録画オプション
 スケジュール
 アラーム
 手動
 容量

レイアウトオプション
 4画面パターン

システムオプション
 ユーザ
 日付 & 時刻
 ネットワーク TCP/IP
 SMTP(電子メール)
 メンテナンス
 サポートの概要
 ログ & レポート
 上書き

製品について



カメラ

カメラ一覧

番号	カメラ名	IPアドレス	ポート	アラーム録画
1	AXIS 210	192.168.72.142	1	ON
2	AXIS 221	192.168.72.158	1	ON
3	AXIS 206M	192.168.72.153	1	
4	AXIS 241S	192.168.72.147	1	ON
5	AXIS 241QB CAM1	192.168.72.143	1	
6	AXIS 241QB CAM2	192.168.72.143	2	
7	AXIS 241QB CAM3	192.168.72.143	3	
8	AXIS 241QB CAM4	192.168.72.143	4	

カメラ番号: 1:AXIS 210

カメラ設定

カメラ名称: AXIS 210

ビデオサーバ入力: 1

IPアドレス: 192.168.72.142

ユーザ認証: ☐ OFF ☒ ON

ユーザID: root

パスワード: ****

備考:

設定 削除

注意:
 設定または削除を実行すると、録画などの現在進行中の接続が全て停止します。(最大10分間)
 カメラを削除すると、録画データは削除されます。

アラーム録画

アラーム録画: ☐ OFF ☒ ON

アラームトリガ: Camera

設定

注意:
 設定を実行すると、録画などの現在進行中の接続が全て停止します。(最大10分間)
 設定をONからOFFにすると、アラームの録画データは削除されます。

注意：

- AXIS 262+ がカメラに接続できるようにするには、追加するカメラのポート番号 80 を利用する必要があります。
- AXIS 262+ はプロキシサーバの外側にあるカメラに接続することはできません。

カメラの削除

重要！

カメラを削除すると、そのカメラで録画したデータも削除されます。

1. カメラを削除する前に、必要なデータをコンピュータのハードディスクに保存してください。詳しくは、31 ページ「録画データをコンピュータに保存する」を参照してください。
2. [カメラ番号] から削除するカメラの番号を選択して [削除] をクリックしてください。

メイン画面の設定

メイン画面では、カメラのライブ画像または録画された画像を 1 画面で表示したり、4 つのカメラの画像を 4 画面で表示したりすることができます。表示されているカメラの画像をダブルクリックすると、全画面表示に切り替わります。もう一度ダブルクリックすると、元の状態に戻ります。

全画面表示、および通常モードの画像上で右クリックすると、ショートカットメニューが表示されます。ショートカットメニューから様々なオプションにアクセス可能です。また、現在選択されているカメラ画像のタイトルバー（画像の下部）は、グレーで表示されます。

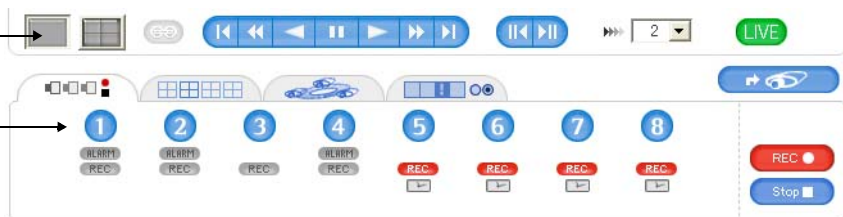
1 画面表示

カメラの選択

AXIS 262+ にカメラを追加すると、メイン画面で追加したカメラの画像を閲覧できるようになります。[1 画面] ボタンをクリックし、表示するカメラの番号をクリックしてください。

クリックして 1 画面表示を選択します。

表示するカメラの番号をクリックします。



選択したカメラからの画像が表示されます。

画像の状態

ビデオの時間 手動録画開始 / 停止

4 画面表示

4 画面表示のパターンを利用して 4 つのカメラのライブ画像、または録画された画像を表示します。

4 画面パターンの作成

1. メイン画面上部の  をクリックし、続いて左側のリンクから [レイアウトオプション] - [4 画面パターン] をクリックします。
2. [パターン番号] ドロップダウンリストから未使用の番号を選択します。
3. [パターン名称] にパターン名を入力します。
4. 各ポジションに表示するカメラを選択します。何も表示しない場合は、OFF を選択してください。
5. [表示] オプションで ON を選択してください。このオプションを有効にすると、メイン画面で 4 画面パターンを使用できるようになります。
6. [設定] ボタンをクリックします。



注意： パターンを削除する場合は、[パターン番号] から削除するパターンの番号を選択して [削除] をクリックしてください。

AXIS 262+ Network Video Recorder

メイン画面 | セットアップ | ヘルプ

カメラオプション

カメラ
ライブプレート

録画オプション

スケジュール
アラーム
手動
容量

レイアウトオプション

4画面パターン

システムオプション

ユーザ
日付 & 時刻
ネットワーク TCP/IP
SMTP(電子メール)
メンテナンス
サポートの概要
ログ & レポート
上書き

製品について

4画面パターン

4画面パターン一覧

番号	パターン名	左上	左下	右上	右下	表示
1	1-4 Camera	1	3	2	4	ON
2	5-8 Camera	5	7	6	8	ON
3	Camera 6	2	4	6	8	ON
4	Camera 7	1	3	5	7	ON
5	Test on English	8		5		ON
6						OFF
7						OFF
8						OFF

4画面パターン設定

パターン番号: 1

パターン名称: 1-4 Camera

左上: 1:AXIS 210

左下: 3:AXIS 206M

右上: 2:AXIS 221

右下: 4:AXIS 241S

表示: ☐ OFF ☒ ON

設定 削除

1. 未使用の番号を選択します。
2. パターン名を入力します。
3. 各ポジションで表示するカメラを選択します。
4. ON を選択してメイン画面でこのパターンを表示できるようにします。

5. [設定] ボタンをクリックします。

4 画面パターンの表示

4 画面パターンを作成すると、そのパターンを使用してメイン画面で画像を表示できるようになります。また、使用する 4 画面パターンをメイン画面で選択することも可能です。メイン画面の [4 画面パターン] タブをクリックし、表示するパターンを選択してください。

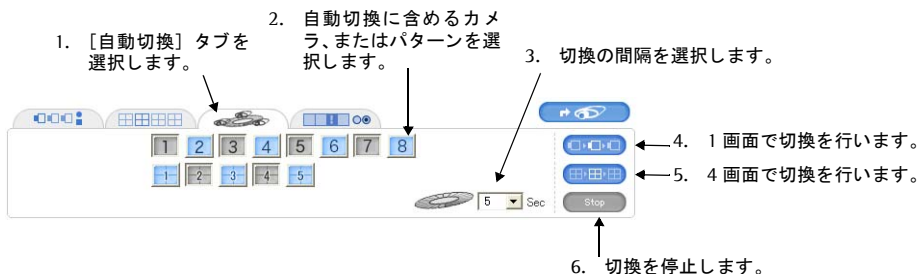


注意： [同期] ボタンを利用すると、4つのカメラが撮影した同時刻のビデオを閲覧することができます。

自動切換

以下の手順にしたがって、メイン画面に表示するカメラまたは 4 画面パターンを自動的に切り換えてください。

1. [自動切換] タブをクリックします。
2. 自動切換の対象とするカメラ、または 4 画面パターンのボタンをクリックします。
3. カメラの自動切換を行う場合は、右側の [カメラ自動切換] ボタンをクリックします。4 画面の自動切換を行う場合は、右側の [4 画面自動切換] ボタンをクリックします。
4. 自動切換を停止する場合は、[Stop] ボタンをクリックします。



注意： 自動切換を行うには、最低でも 2 つのカメラ / 4 画面パターンを選択する必要があります。

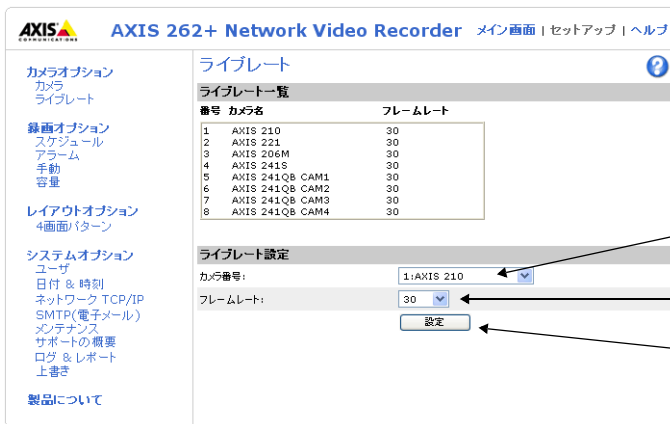
フレームレート

メイン画面でライブビデオストリームおよび録画されたビデオを閲覧する際のデフォルトのフレームレートは、30 フレーム / 秒に設定されています。フレームレートは、30 フレーム / 秒から 1 フレーム / 分の範囲内で選択することができます。

ライブビデオ

以下の手順にしたがって、メイン画面でのライブストリームのフレームレートを設定してください。

1. メイン画面上部の  をクリックし、続いて左側のリンクから [カメラオプション] - [ライブレート] をクリックします。
2. [カメラ番号] ドロップダウンリストからフレームレートを設定するカメラの番号を選択します。
3. [フレームレート] ドロップダウンリストから使用するフレームレートを選択します。
4. [設定] ボタンをクリックします。



AXIS 262+ Network Video Recorder メイン画面 | セットアップ | ヘルプ

カメラオプション
カメラ
ライブレート

録画オプション
スケジュール
アラーム
手動
音量

レイアウトオプション
4画面ボタン

システムオプション
ユーザ
日付 & 時刻
ネットワーク TCP/IP
SMTP(電子メール)
メンテナンス
サポートの概要
ログ & レポート
上書き
製品について

ライブレート

ライブレート一覧

番号	カメラ名	フレームレート
1	AXIS 210	30
2	AXIS 221	30
3	AXIS 206M	30
4	AXIS 241S	30
5	AXIS 241QB CAM1	30
6	AXIS 241QB CAM2	30
7	AXIS 241QB CAM3	30
8	AXIS 241QB CAM4	30

ライブレート設定

カメラ番号: 1:AXIS 210

フレームレート: 30

設定

1. 設定するカメラ番号を選択します。

2. フレームレートを選択します。

3. [設定] ボタンをクリックします。

録画

AXIS 262+はネットワークカメラやビデオサーバが配信可能なフレームレートで画像の録画を行いますが、実際のフレームレートは [フレームレート] オプションで設定した値よりも低くなる場合があります。これは、利用可能な帯域幅が限られていたり、カメラ / ビデオサーバの設定でフレームレートの制限を行っている場合などに発生します。

手動録画とスケジュール録画で同じカメラに対して異なるフレームレートを設定した場合、AXIS 262+ はそのうちで最も高く設定されたフレームレートを利用して録画を行います。アラーム録画の場合は、アラームの設定ページで指定したフレームレートを常に使用します。

手動録画のフレームレートを設定する

以下の手順にしたがって、手動録画時のフレームレートを設定してください。

1. メイン画面上部の  をクリックし、続いて左側のリンクから [録画オプション] - [手動] をクリックします。
2. [カメラ番号] ドロップダウンリストからフレームレートを設定するカメラの番号を選択します。
3. [フレームレート] ドロップダウンリストから使用するフレームレートを選択します。
4. [設定] ボタンをクリックします。



AXIS 262+ Network Video Recorder メイン画面 | セットアップ | ヘルプ

カメラオプション
カメラ
ライブプレート

録画オプション
スケジュール
アラーム
手動
容量

レイアウトオプション
4画面パターン

システムオプション
ユーザ
日付 & 時刻
ネットワーク TCP/IP
SMTP(電子メール)
メンテナンス
サポートの概要
ログ & レポート
上書き

製品について

手動

手動録画一覧

番号	カメラ名	フレームレート
1	AXIS 210	15
2	AXIS 221	30
3	AXIS 206M	15
4	AXIS 241S	30
5	AXIS 241QB CAM1	30
6	AXIS 241QB CAM2	30
7	AXIS 241QB CAM3	30
8	AXIS 241QB CAM4	30

手動録画設定

カメラ番号: 1:AXIS 210

フレームレート: 15

設定

1. 設定するカメラ番号を選択します。

2. フレームレートを選択します。

3. [設定] ボタンをクリックします。

ビデオの録画

AxIS 262+ のハードディスクへの録画は、あらかじめ指定した時間に行ったり、アラームによるトリガや、手動で任意に開始させることができます。たとえば、オフィス内のモニタリングなどの場合、月曜から金曜までの就業時間中に録画を実行することができます。また、ドアが開いたときやモーション検知が行われたときに入力をトリガとして録画を開始したり、メイン画面から手動で録画を開始することができます。

メイン画面の「カメラ選択」タブには、各カメラの録画状況が表示されます。

カメラ 1：スケジュール録画中
カメラ 2：アラーム録画中
カメラ 3：手動録画中
カメラ 4：録画停止中



スケジュール録画

定期的に録画を行う曜日、時間を各カメラに対して設定することができます。また、1 日の中で複数の録画を実行することもできます例：毎週火曜日、10:00-12:45、14:00-16:15、20:30-23:00 に録画を実行)。曜日によって異なるスケジュールを設定したり、また複数の曜日に対して同時に設定を行うことも可能です。

スケジュール録画を設定する

1. メイン画面上部の  をクリックし、続いて左側のリンクから「録画オプション」-「スケジュール」をクリックします。
2. 「カメラ番号」ドロップダウンリストからスケジュールを設定するカメラの番号を選択します。
3. 「スケジュール設定」の欄で録画を行う曜日、開始時間、終了時間、フレームレートを設定します。
4. 「設定」ボタンをクリックします。
5. 「スケジュール録画を有効にする」欄にある「設定」ボタンをクリックしてスケジュールを保存します。他のスケジュールを作成する場合は、手順 2～5 を繰り返してください。

1. 設定するカメラの番号を選択します。

スケジュール録画

カメラ番号: 4:AXIS 241S

	00:00	06:00	12:00	18:00
日曜:	[例] 土曜日 8:00 ~ 17:00			
月曜:				
火曜:				
水曜:				
木曜:				
金曜:				
土曜:				

スケジュール設定

曜日: ☐ 日 ☐ 月 ☐ 火 ☐ 水 ☐ 木 ☐ 金 ☐ 土 すべてを選択

時間帯: ☐ 終日

開始: 00:00 終了: 00:00

フレームレート: 30

設定 削除

スケジュール録画を有効にする

全カメラのスケジュール録画を有効にする: ☐ OFF ☒ ON 設定

スケジュール録画を削除する

1. [カメラ番号] ドロップダウンリストからスケジュールを削除するカメラの番号を選択します。
2. スケジュール一覧から削除するスケジュール（灰色のバー）をクリックして選択し、[削除] をクリックします。
3. ある曜日に設定されている複数のスケジュールをすべて削除する場合は、まず [曜日] を選択します。続いて、時間帯から [終日] を選択して [削除] をクリックしてください。

注意： [全カメラのスケジュール録画を有効にする] オプションから OFF 選択して [設定] ボタンをクリックすると、すべてのスケジュール録画を一時的に無効にすることができます。このオプションを利用すると、すべてのカメラのスケジュール設定をそのままの状態に保存し、後日必要に応じて再利用することができます。

アラーム録画

アラーム録画は、AXIS 262+ の入力ポートからの信号や、Axis ネットワークカメラ / ビデオサーバからのアラーム通知をトリガとして録画を実行します。

以下の手順にしたがって、アラーム録画の設定を行ってください。

1. メイン画面上部の  をクリックし、続いて左側のリンクから [カメラオプション] - [カメラ] をクリックします。
2. [カメラ番号] ドロップダウンリストからアラーム録画を行うカメラの番号を選択します。
3. [アラーム録画] オプションから ON を選択します。
4. [アラームトリガ] オプションからアラームをトリガする方法を選択します。AXIS 262+ の入力ポートを利用する場合は Local input port、カメラ / ビデオサーバのアラーム通知を利用する場合は Camera を選択してください。
5. [設定] ボタンをクリックします。



AXIS 262+ Network Video Recorder メイン画面 | セットアップ | ヘルプ

カメラ

カメラ一覧

番号	カメラ名	IPアドレス	ポート	アラーム録画
1	AXIS 210	192.168.72.142	1	ON
2	AXIS 221	192.168.72.150	1	ON
3	AXIS 206M	192.168.72.153	1	
4	AXIS 241S	192.168.72.147	1	ON
5	AXIS 241QB CAM1	192.168.72.143	1	
6	AXIS 241QB CAM2	192.168.72.143	2	
7	AXIS 241QB CAM3	192.168.72.143	3	
8	AXIS 241QB CAM4	192.168.72.143	4	

カメラ番号: 1:AXIS 210

カメラ設定

カメラ名: AXIS 210

ビデオサーバ入力: 1

IPアドレス: 192.168.72.142

ユーザ認証: ☐ OFF ☒ ON

ユーザID: root

パスワード: ****

備考:

[設定] [削除]

アラーム録画

アラーム録画: ☐ OFF ☒ ON

アラームトリガ: Camera

[設定]

注意:
設定または削除を実行すると、録画などの現在進行中の接続が全て停止します。(最大10分間)
カメラを削除すると、録画データは削除されます。

注意:
設定または削除を実行すると、録画などの現在進行中の接続が全て停止します。(最大10分間)
設定をONからOFFにすると、アラームの録画データは削除されます。

6. 続いて、左側のリンクから [録画オプション] - [アラーム] をクリックします。
7. [カメラ番号] ドロップダウンリストからアラーム録画を設定するカメラの番号を選択します。
8. 手順 4 で選択したアラームをトリガする方法にしたがって、フレームレートを選択します。Local input port の場合は本体接点入力欄の [フレームレート]、Camera を選択した場合はカメラアラーム入力欄の [フレームレート] から値を選択してください。

9. カメラを利用してアラームをトリガする場合は、[最大録画時間] オプションから録画を継続する時間を選択します。
10. アラーム録画が開始、および停止したときにメッセージを受信する場合は、TCP 通報欄でメッセージの内容をそれぞれ入力してください。
11. [設定] ボタンをクリックします。
12. TCP 通報を利用する場合は、TCP サーバを設定する必要があります (TCP 通報機能はオプションです)。
13. TCP 通報設定を行った場合は、[設定] ボタンをクリックして設定を保存してください。

カメラ 1 は Local input port を利用してアラームトリガするよう設定されています。

アラーム

アラーム録画一覧

番号	カメラ名	フレームレート (Local)	フレームレート (Camera)	録画時間	TCP通報
1	AXIS 210	30			ON
2	AXIS 221		30	30s	ON
3	AXIS 206M				OFF
4	AXIS 241S	30			ON
5	AXIS 241QB CAM1				OFF
6	AXIS 241QB CAM2				OFF
7	AXIS 241QB CAM3				OFF
8	AXIS 241QB CAM4				OFF

アラーム録画設定

カメラ番号: 1:AXIS 210

本体接続入力:

フレームレート: 30

カメラアラーム入力:

フレームレート: 30

最大録画時間: 1 Minutes

TCP通報: ☐ OFF ☒ ON

録画開始時のメッセージ: 210_Alarm_Start!!!

録画終了時のメッセージ: 210_Alarm_Stop!!!

[設定]

TCP通報設定

TCP通報: ☐ OFF ☒ ON

プライマリサーバ:

IPアドレス/ホスト名: axis2490.private

TCPポート: 4000

セカンダリサーバ:

IPアドレス/ホスト名: axis2490.private

TCPポート: 4000

[設定]

1. 設定するカメラを選択します。
2. 使用するトリガの方法のフレームレートを選択します。
3. * TCP 通報を利用する場合は ON を選択します。
4. * TCP 通報に含めるメッセージを入力します。
5. [設定] ボタンをクリックします。
6. * TCP 通報の有効/無効を設定します。
7. * TCP サーバの設定を行います。
8. [設定] ボタンをクリックします。

* TCP 通報のオプション設定です。

カメラを利用してアラームをトリガする

Axis ネットワークカメラ / ビデオサーバを利用してアラームをトリガする場合は、AXIS 262+ にアラーム通知を送信するようカメラ / ビデオサーバを設定しておく必要があります。

以下の手順にしたがって、カメラ / ビデオサーバのアラーム通知 (HTTP) を設定してください。

1. Axis ネットワークカメラ / ビデオサーバの内部 Web ページにアクセスし、[Setup] - [Event Configuration] - [Event Servers] ページを開きます。
2. [Add HTTP...] をクリックして以下の設定を行ってください。
 - [Name] フィールドに、「AXIS 262+」と入力してください。
 - [URL] フィールドに次のアドレスを入力してください (<IP-address> には AXIS 262+ の IP アドレスまたはホスト名を入力してください)。
`http://<IP-address>/axis-cgi/operator/record/record.cgi`
 - [User name] フィールドに、AXIS 262+ に登録されているユーザ名を入力してください。ここで指定するユーザは、Operator または Administrator 権限を持っている必要があります。
 - [Password] フィールドに、[User name] フィールドで指定したユーザのパスワードを入力します。
3. 次に、Event Server (AXIS 262+) にアラーム通知を送信する設定を行います。Axis ネットワークカメラ / ビデオサーバの内部 Web ページで、[Event Configuration] - [Event Types] をクリックします。
4. [Add triggered ...] をクリックします。
5. General 欄の [Name] フィールドに任意の名前を入力します。イベントが 1 つも無い場合はそのままでも構いません。Respond to trigger... 欄は always のままにしておきます。
6. [Triggered by...] ドロップダウンリストから、どのようにしてイベントを開始するかを選択します。
7. When Triggered... 欄で [Send HTTP notification to] オプションをチェックし、右側のドロップダウンリストから手順 2 で設定した Event Server (AXIS 262+) を選択します。
8. [Custome parameters] フィールドの設定を行います。
 - アラーム開始時に使用するトリガの場合は、次のように入力してください (カメラ番号 には AXIS 262+ で設定されているカメラの番号 (1 ~ 8) を設定してください)。
`action=start&trigger=alarm&source= カメラ番号`
 - アラーム終了時に使用するトリガの場合は、次のように入力してください (カメラ番号 には AXIS 262+ で設定されているカメラの番号 (1 ~ 8) を設定してください)。
`action=stop&trigger=alarm&source= カメラ番号`
9. [OK] をクリックします。

手動録画

メイン画面を利用して手動で録画を実行することができます。手動録画は、カメラごと、またはすべてのカメラで録画を開始することができます。特定のカメラで録画の開始 / 停止を行う場合は、カメラ画像の右下に表示されているボタンを使用してください。すべてのカメラで録画の開始 / 停止を行う場合は、[カメラ選択] タブに表示されているボタンを使用してください。



このボタンをクリックすると、現在表示されているカメラの録画を停止します。

このボタンをクリックすると、現在表示されているカメラの録画を開始します。

このボタンをクリックすると、すべてのカメラの録画を開始します。

このボタンをクリックすると、すべてのカメラの録画を停止します。

ビデオの再生

手動録画、スケジュール録画、およびアラーム録画機能を利用して録画されたビデオは、メイン画面で再生することができます。また、録画の実行中でも既に録画されたデータの再生を行うことが可能です。特定の日付と時間を指定して該当するビデオを再生したり、アラームリストから選択したアラーム録画を再生することもできます。スケジュール録画、手動録画、およびアラーム録画は、お使いのコンピュータに AVI ファイルとして保存することができます。

ビューワスクリーンの下に表示されているツールを利用して、以下のような再生操作を行うことができます。

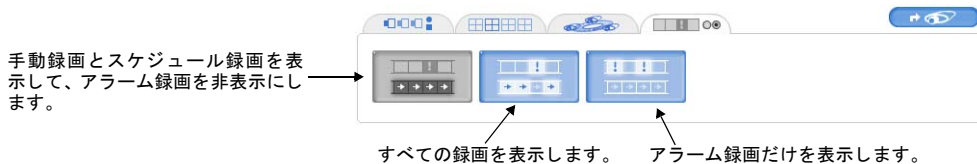


- 様々な速度で再生、逆再生が可能
- 録画データの最初と最後にジャンプ可能
- 同期再生によって、4つのカメラで同じ時刻に録画されたデータを表示
- 再生の一時停止、フレーム前後のコマ送り

再生設定

録画データを再生する場合、以下のオプションを使用することができます。

- 通常のみ表示 - 手動録画、スケジュール録画のみを表示
- 通常 + アラーム表示 - すべての録画（手動、スケジュール、アラーム）を表示
- アラームのみ表示 - アラーム録画のみを表示



注意：「通常 + アラーム表示」オプションを選択した状態でハードディスク上にアラーム、および手動 / スケジュール録画の両方が保存されている場合、フレームレートが高い方の録画データが優先的に再生されます。

日付と時刻を利用した再生

日付と時刻を指定して、1つのカメラまたは4つのカメラの録画を同時に再生することができます。以下の手順にしたがって、日付と時刻を指定して再生を行ってください。

1. 録画を再生するカメラ（または4画面パターン）を選択します。
2. 日付、時刻を選択します。
3. [ジャンプ] ボタンをクリックして指定した日付と時間に該当する録画を開きます。該当する録画が無い場合は、指定した日付と時刻に最も近い次の録画を表示します。

4. コントロールを使用して、録画の再生または高速再生を行ってください。

注意： 再生設定で選択したオプションによって、再生の対象となる録画が決定します。たとえば、アラームのみ表示オプションを選択することによって、アラーム録画のみを表示することができます。

各カメラのアラーム情報が表示されます。

Camera name	Rec starting date	Alarm
01	AXIS210	-
02	AXIS221	-
03	AXIS206M	-
04	AXIS241S	-
05	AXIS241GBC-AM1	2005-07-11
06	AXIS241GBC-AM2	2005-07-11
07	AXIS241GBC-AM3	2005-07-11
08	AXIS241GBC-AM4	2005-07-11

2. 月を選択します。

3. 日を選択します。

4. 時刻を選択します。

5. 該当する録画を表示します。

1. 設定するカメラを選択します。

6. アラーム録画を再生します。

アラーム録画の再生時は、カメラ番号がオレンジ色で表示されます。

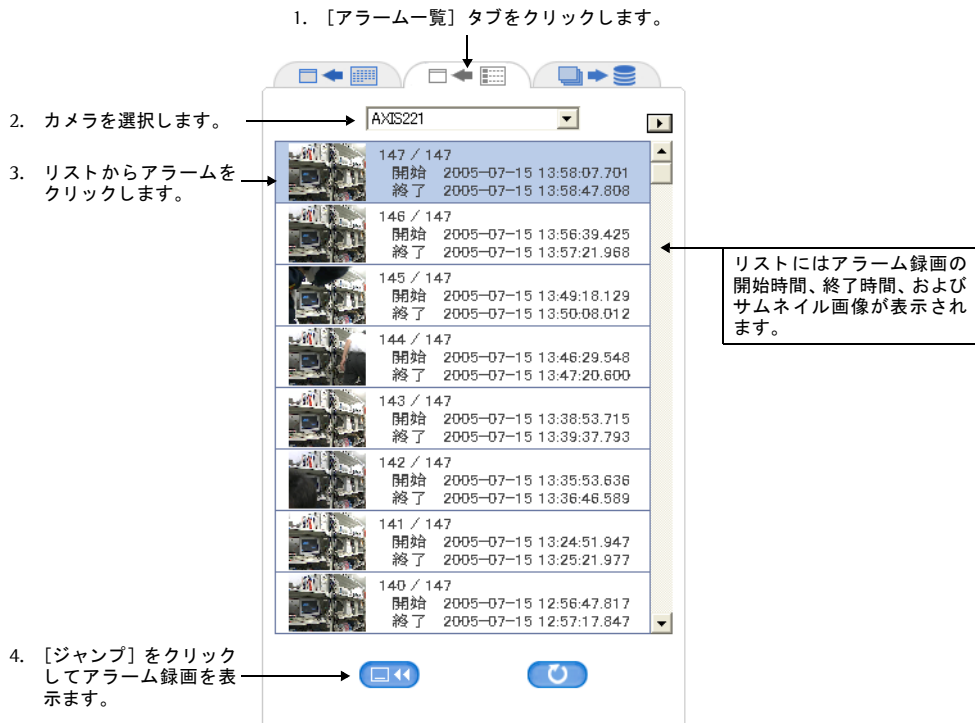
アラーム一覧を利用した再生

アラーム一覧には各カメラのアラーム録画が表示されます。一覧から再生するアラーム録画を選択して再生することができます。各アラーム録画には録画の開始時間と終了時間、録画番号、および録画を開始したときの画像がサムネイルとして表示されます。

メイン画面右上に表示されているカメラ情報には、アラームに関するものが含まれています。アラームが発生したカメラの「Alarm」欄には、「あり」と表示されます。また、アラーム発生後、初めてリストを更新した時には、「Alarm」欄には「新着」と表示されます。

以下の手順にしたがって、アラーム録画を再生してください。

1. 「アラーム一覧」タブを選択します。
2. ドロップダウンリストからアラーム一覧を表示するカメラを選択します。
3. 一覧から、再生するアラーム録画をひとつクリックします。
4. 「ジャンプ」ボタンをクリックします。
5. 選択したアラーム録画の画像が表示されます。
6. コントロールを使用して、録画の再生または高速再生を行ってください。



録画データをコンピュータに保存する

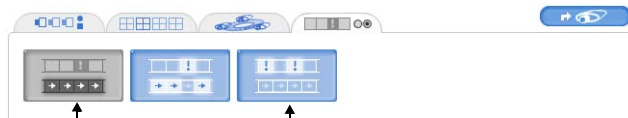
アラーム録画、手動録画、およびスケジュール録画をお使いのコンピュータのハードディスクに AVI ファイルとして保存することができます。保存する録画の開始時間、終了時間、および保存場所を指定してください。

注意： 再生設定オプションで「通常 + アラーム表示」を選択している場合は、録画データを保存することはできません。「通常のみ表示」、または「アラームのみ表示」に切り換えてから保存を行ってください。

以下の手順にしたがって、録画データを AVI ファイルとして保存してください。

1. 再生設定オプションで、「通常のみ表示」、または「アラームのみ表示」を選択してください。
2. [カメラ選択] タブから録画データを保存したいカメラを選択します。
3. カレンダーの上にある [ダウンロード] タブをクリックします。
4. 録画の開始時間を指定して [日付指定ジャンプ] をクリックするか、コントロールを利用して録画を開始するフレームまで移動します。
5. 録画を開始するフレームが表示されたら、[START] 欄の [Set] ボタンをクリックします。
6. 録画を終了するフレームまで移動し、[END] 欄の [Set] ボタンをクリックします。
7. [Save to folder] フィールドに保存先のディレクトリを入力します。
8. [File name] フィールドに必要なに応じてファイル名を指定します。

9. [ダウンロード開始] ボタンをクリックすると、録画データの保存が開始されます。



1. 手動録画 / スケジュール録画、またはアラーム録画を選択します。



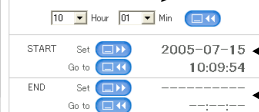
2. 録画データを保存したいカメラを選択します。

Camera name	Rec starting date	Alarm
01 AXIS210	2005-07-14	-
02 AXIS221	-	-
03 AXIS206M	-	新着
04 AXIS241S	-	-
05 AXIS241GBCAM1	2005-07-14	-
06 AXIS241GBCAM2	2005-07-14	-
07 AXIS241GBCAM3	2005-07-14	-
08 AXIS241GBCAM4	2005-07-14	-

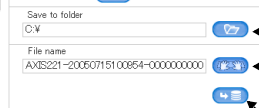
3. [ダウンロード] タブをクリックします。



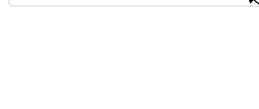
4. 保存する録画の日付と時刻を選択し、[日時指定ジャンプ]をクリックして該当する録画を表示します。



5. 録画を開始するフレームを設定します。



6. 録画を終了するフレームを設定します。



7. ファイルの保存場所を指定します。



8. 必要に応じてファイル名を指定します。



9. AVI ファイルの保存を開始します。

ハードディスク

容量

各カメラの手動 / スケジュール録画、およびアラーム録画のディスク容量の割り当て状況を確認したり、変更したりすることができます。新しく追加されたカメラは、デフォルトで手動 / スケジュール録画用に 12 GB、アラーム録画用に 7 GB が割り当てられます。

メイン画面上部の  をクリックし、続いて左側のリンクから [録画オプション] - [容量] をクリックします。各カメラのディスクの使用状況を確認し、必要に応じて容量の割り当てを変更してください。

注意： カメラに割り当てられているディスク容量を減らすと、録画データが削除されることがあります。

データの上書き

録画データが使用領域の限界に達した場合に、古いデータを上書きするかどうか設定することができます。メイン画面上部の  をクリックし、続いて左側のリンクから [システムオプション] - [上書き] をクリックします。[カメラ番号] から上書きの設定を行うカメラを選択し、手動 / スケジュール録画、またはアラーム録画のそれぞれに対して上書きを行うかどうか設定してください。

注意： 上書き設定が無効 (OFF) になっている場合、ハードディスクが一杯になるとそのカメラの録画ができなくなります。

ハードディスクの交換

AXIS 262+ のハードディスクは交換することができます。交換用のハードディスクは、250MB (部品番号：27528) です。これ以外のハードディスクに交換された場合、保証の対象外となりますのでご注意ください。また、製品出荷時に搭載されていたハードディスク、および Axis が指定する交換用のハードディスク以外のハードディスクを利用した場合の動作保証は一切いたしません。

警告！

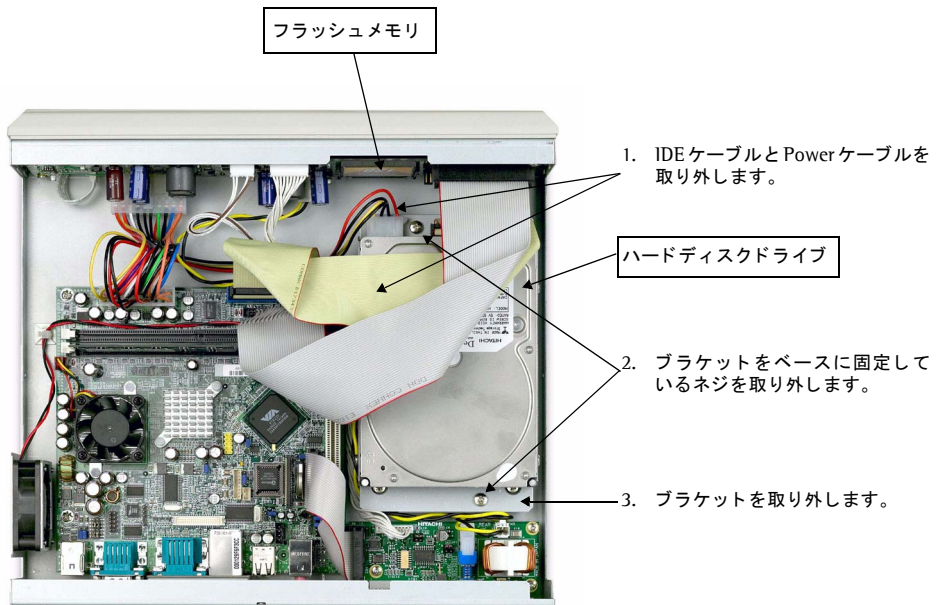
AXIS 262+ は静電気放電 (ESD) に対して敏感です。ハードディスクの交換時には、アース用ストラップ、ESD プロテクトグローブやマットを使用するなどの対策を行ってください。また、電氣的障害を避けるために、カバーを取り外す前に電源ケーブルを抜いて本体の電源を必ず切るようにしてください。

以下の手順にしたがって、ハードディスクの交換を行ってください。

1. 電源ケーブルを本体から取り外します。
2. カバーを固定しているネジを外します (側面 2 箇所、裏面 3 箇所)。詳しくは、11 ページ「AXIS 262+ リアパネル」を参照してください。
3. カバーを取り外します。
4. ハードディスクの IDE ケーブルと Power ケーブルを取り外します。
5. ハードディスク (ブラケット) を AXIS 262+ 本体に固定しているネジを外します。

6. ブラケットを取り出し、ハードディスクをブラケットに固定しているネジを外します。
7. 新しいハードディスクをブラケットに取り付けます。続いて、ブラケットを AXIS 262+ 本体に取り付けます。
8. IDE ケーブルと Power ケーブルを接続し、カバーを取り付けます。最後に、電源ケーブルを接続してください。

注意： 新しいハードディスクのジャンパが「マスタ (Master)」に設定されていることを確認してください。



システムオプション

日付 & 時刻

日付と時刻は、録画データおよびライブビデオを閲覧するときに表示されます。ライブビデオ上に日付と時刻が表示されていない場合は、画像上で右クリックし、ショートカットメニューから「日付 / 時刻 表示」を選択して表示することができます。日付と時刻は画像と一緒に保存され、録画データの検索条件などに使用されますので、正確な日付と時刻を使用するようにしてください。

AXIS 262+ の日付と時刻は、手動または NTP サーバを利用して自動的に設定することができます。また、AXIS 262+ を使用している地域のタイムゾーンや、日付と時刻の表示形式を設定することもできます。

注意： タイムゾーンを変更すると AXIS 262+ が再起動し、録画が最大 10 分間停止します

以下の手順にしたがって、AXIS 262+ の日付と時刻を設定してください。

1. メイン画面上部の  をクリックし、続いて左側のリンクから「システムオプション」-「日付&時間」をクリックします。
2. 日付と時刻の設定方法を選択します。
 - 手動で設定する場合は「**手動で設定する**」オプションを選択して日付と時刻を指定してください。
 - 自動的に日付と時刻を更新する場合は「**NTP サーバと同期する**」オプションを選択し、NTP サーバの IP アドレス（またはホスト名）を入力してください。
3. 「設定」ボタンをクリックします。
4. AXIS 262+ を使用している地域をタイムゾーンから選択します。
5. 「設定」ボタンをクリックします。

1. 設定モードを選択します。

2. 手動で設定する場合は、
 - 日付と時刻を選択します。
 - [設定] ボタンをクリックします。
 NTPサーバで設定する場合は、
 - NTPサーバのIPアドレスを入力します。
 - 問い合わせ間隔を選択します。
 - [設定] ボタンをクリックします。

3. タイムゾーンを選択します。

4. [設定] ボタンをクリックします。

5. 日付の表示形式を選択します。

6. [設定] ボタンをクリックします。

NTP サーバ

AXIS 262+ の重要な機能として、AXIS 262+ を Axis ネットワークカメラ / ビデオサーバの NTP サーバとして利用できるという点があります。ネットワークカメラ / ビデオサーバの内部 Web ページを開き、NTP サーバの設定フィールドに AXIS 262+ の IP アドレスを入力してください。AXIS 262+ を NTP サーバとして設定することにより、ネットワークカメラ / ビデオサーバの日付と時刻を AXIS 262+ と同期させることができます。

注意： メイン画面の右上に表示されている時刻は、お使いのコンピュータの時刻になります。AXIS 262+ の [日付と時刻] ページで設定した時刻ではありません。

ネットワーク TCP/IP

AXIS 262+ の IP アドレスおよび他のネットワークに関連する設定はインストール時に設定しますが、必要に応じてセットアップページでも設定を変更することができます。AXIS 262+ は DHCP をサポートしています。固定の IP アドレスを設定することも可能です。

AXIS 262+ でホスト名を利用する場合は、プライマリ DNS サーバを設定する必要があります。ホスト名を利用して NTP またはメールサーバにアクセスする場合は、お使いのネットワークの DNS サーバを設定してください。

SMTP（電子メール）

AXIS 262+ は、ハードディスクエラーやシステムエラーが発生したときに、あらかじめ設定した 5 つまでの宛先に電子メールを送信することができます。

まず、以下の手順にしたがって、SMTP の設定を行ってください。

1. メイン画面上部の  をクリックし、続いて左側のリンクから [システムオプション] - [SMTP（電子メール）] をクリックします。
2. [メール通知] オプションから **ON** を選択します。
3. [送信元アドレス] に、メールの送信元として表示されるメールアドレスを入力します。
4. メールの送信に使用する SMTP サーバの IP アドレス（またはホスト名）を、[プライマリサーバ] フィールドに入力します。必要に応じて、[セカンダリサーバ] フィールドにセカンダリ SMTP サーバを設定することもできます。
5. AXIS 262+ がメールを送信する前に SMTP サーバの POP3 認証が必要な場合は、[POP3 認証] オプションから **ON** を選択してください。デフォルトでは、このオプションは **OFF** に設定されています。
6. 必要に応じて、POP3 サーバの IP アドレス、ユーザ ID、パスワードを入力してください。
7. [設定] ボタンをクリックします。

続いて以下の手順にしたがって、メールアドレスをリストに追加してください。

1. 「送信先メールアドレスの設定」にある [番号] ドロップダウンリストから未使用の番号を選択します。
2. [送信先アドレス] フィールドに、メールアドレスを入力します。
3. [設定] ボタンをクリックします。

注意： SMTP サーバ、POP サーバがホスト名の場合は、[システムオプション] - [ネットワーク TCP/IP] ページで DNS サーバを設定してください。

メンテナンス

[メンテナンス]ページには、AXIS 262+ の管理ツールが含まれています。メイン画面上部の  をクリックし、続いて左側のリンクから [システムオプション] - [メンテナンス] をクリックしてください。

- **再起動** - 何らかの問題が発生したときに、AXIS 262+ を再起動することができます。
- **ソフトリセット** - IP アドレス、サブネットマスク、ゲートウェイ、プライマリ DNS サーバ、セカンダリ DNS サーバ以外のすべてのパラメータを工場出荷時の状態にリセットします。
- **デフォルト** - すべての設定を工場出荷時の状態にリセットします。
- **ファームウェアのアップグレード** - AXIS 262+ に新しいファームウェアをインストールします。
- **バックアップ** - すべてのパラメータ設定をバックアップファイルに保存します。
- **復元** - バックアップファイルを使用して、AXIS 262+ の設定をバックアップ時の状態に戻します。

注意： 復元は、バックアップ時と同じバージョンのファームウェアを搭載した、同一シリアル番号の機器に対してのみ行えます。バックアップ時とは別のバージョンのファームウェアを搭載した機器や、別のシリアル番号の機器では実行しないでください。

ログ & レポート

AXIS 262+ に何らかの問題が発生した場合、ログファイル、サーバレポート、パラメータリストを表示して製品のステータスやすべてのパラメータ設定を確認することができます。ログファイルはハードディスク上に保存されており、ファクトリセットアップボタンを押さない限り消去されません。

以下の手順にしたがって、ログファイル、サーバレポート、パラメータリストを表示してください。

1. メイン画面上部の  をクリックし、続いて左側のリンクから [システムオプション] - [ログ&レポート] をクリックします。
2. [ログ]、[サーバレポート]、[パラメータリスト] ボタンをクリックすると、別のウィンドウが開いて情報が表示されます。

トラブルシューティング

AXIS 262+ に関する問題を解決するには、まず 42 ページ「症状、考えられる原因、および対処方法」を参照してください。また、ファームウェアのアップグレードを行うことによって問題が解決できる場合があります。

AXIS 262+ をリセットする

AXIS 262+ の動作が不安定になったりした場合は、まず AXIS 262+ の再起動を試してみてください。再起動しても問題が解決しないときは、AXIS 262+ を工場出荷時のデフォルト設定にリセットしてください。再起動、ソフトリセット、デフォルトへのリセットは、セットアップページの [メンテナンス] から行えます。メイン画面の  をクリックし、左側のリンクから [システムオプション] - [メンテナンス] をクリックしてください。また、AXIS 262+ のリアパネルに備えられているファクトリセットアップボタンを利用して工場出荷時の状態にリセットすることもできます。

再起動 - [メンテナンス] ページの [再起動] ボタンをクリックすると、AXIS 262+ が再起動します。設定は一切変更されません。

ソフトリセット - [メンテナンス] ページの [ソフトリセット] ボタンをクリックすると、IP アドレス、サブネットマスク、ゲートウェイ、プライマリ DNS サーバ、セカンダリ DNS サーバ以外のすべてのパラメータを工場出荷時の状態にリセットします。

デフォルト - [メンテナンス] ページの [デフォルト] ボタンをクリックすると、すべてのパラメータが工場出荷時の状態にリセットされます。IP アドレスもデフォルト値にリセットされます。

注意： [ソフトリセット] および [デフォルト] を実行すると、ハードディスク上の録画データが消去されます。

ファクトリセットアップボタン

新しいハードディスクに交換した後や、Disk インディケータが赤色で点灯していて AXIS 262+ にアクセスできない場合には、リアパネルに備えられているファクトリセットアップボタンを使用して工場出荷時の状態にリセットしてください。

注意： AXIS 262+ を工場出荷時の状態にリセットすると、ハードディスク上の録画データが消去されます。

以下の手順にしたがって、工場出荷時の状態にリセットしてください。

1. リアパネルのファクトリセットアップボタンを、Status インディケータが黄色で点滅するまで押し続けます（約 15 秒ほどかかる場合があります）。Status インディケータが点滅し始めたら、ボタンを放します。
2. Status インディケータが緑色で点灯し（約 1 分ほどかかる場合があります）、AXIS 262+ は工場出荷時の状態にリセットされたことを示します。
3. インストールガイドの手順にしたがって、AXIS 262+ を再インストールしてください。

ファームウェアのアップグレード

ファームウェアは AXIS 262+ の機能を決定するソフトウェアです。現在インストールされているファームウェアのバージョンを確認して、最新のファームウェアが利用できる場合はアップグレードを行ってみてください。ファームウェアをアップグレードすることによって、問題が解決される場合があります。

AXIS 262+ の現在のファームウェアバージョンは、サーバレポートで確認することができます。メイン画面右上の  クリックし、画面左側のリンクから [システムオプション] - [ログ&レポート] - [サーバレポート] ボタンをクリックしてください。

ファームウェアのアップグレードを行う前に、アップグレード手順およびリリースノートの内容を必ず確認するようにしてください。新しいファームウェアは、Axis の Web サイトから無料でダウンロードしてご利用いただけます。

重要！

ファームウェアのアップグレードを実行すると、すべての録画データ、および設定（ネットワークの設定を除く）が消去されます。必要な録画データをコンピュータのハードディスクに保存してからアップグレードを行うようにしてください。

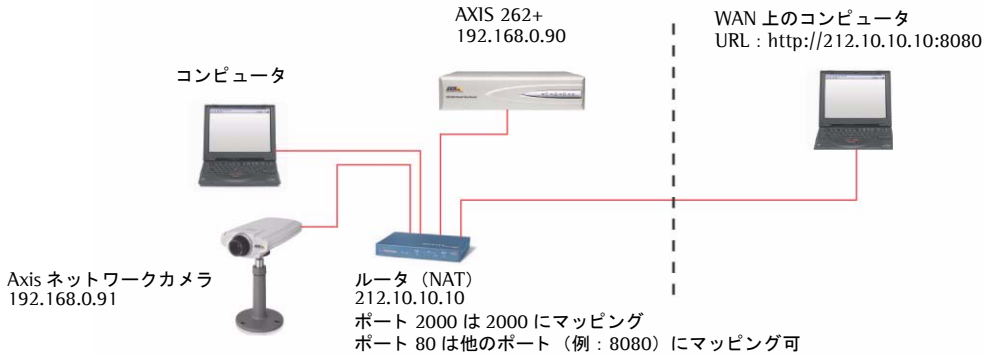
1. Axis の Web サイトからファームウェアをダウンロードして、お使いのコンピュータに保存します。
2. メイン画面右上の  をクリックし、画面左側のリンクから [システムオプション] - [メンテナンス] をクリックします。
3. ファームウェアのアップグレード欄で、[参照 ...] ボタンをクリックしてダウンロードしたファームウェアを選択します。
4. [アップグレード] ボタンをクリックします。アップグレードが終わるまで 1 ～ 10 分待ちます。
5. しばらくして AXIS 262+ が自動的に再起動します。再びブラウザで AXIS 262+ にアクセスできることを確認してください。

- 注意：**
- アップグレードに失敗したと思われる場合でも、最低 20 分はそのまま待ってから AXIS 262+ を再起動するようにしてください。
 - アップグレードが正しく行われなかった場合、故障の原因となることがあります。誤ったアップグレード手順による故障については、Axis は修理費用を請求させていただきます。

インターネット経由で AXIS 262+ にアクセスする場合

AXIS 262+ で使うネットワークポート番号は、80 番と 2000 番です。インターネット経由で AXIS 262+ にアクセスしたい場合は、ルータの NAT アドレス・ポート変換の設定を以下のように設定してください。

AXIS 262+ の LAN 側ポート		WAN 側ポート
ポート 80	→	80 または 80 以外に設定
ポート 2000	→	2000 (2000 以外には設定できません)



注意： インターネット経由で AXIS 262+ にアクセスしている場合、メイン画面の [カメラリンク] ボタンは正しく動作しません。

サポート

Axis の技術サポートにお問い合わせをいただくまえに、サーバレポートまたはログファイルをご用意ください。サーバレポートやログファイルには、問題の解決に役立つ情報が含まれています。

ログファイル - メイン画面右上の  をクリックし、画面左側のリンクから [システムオプション] - [ログ&レポート] - [ログ] ボタンをクリックしてください。ログファイルには、AXIS 262+ 内で発生したイベントが記録されています。

サーバレポート - メイン画面右上の  をクリックし、画面左側のリンクから [システムオプション] - [ログ&レポート] - [サーバレポート] ボタンをクリックしてください。サーバレポートには、AXIS 262+ およびそのファームウェアについての重要な情報が含まれています。

症状、考えられる原因、および対処方法

Web ブラウザから AXIS 262+ にアクセスできない

プロキシサーバの問題 Web ブラウザでプロキシサーバを使用しないよう設定してみてください。

他のネットワークに関する問題 ネットワークケーブルに問題がないか確認してください。

内部 Web ページが正しく表示されない

ネットワークの負荷が高い 十分な帯域幅を確保するようにしてください。

録画データが検索できない

時刻が編集されている [日付 & 時刻] ページで手動で日付と時刻を変更した場合、特定の日付と時刻を利用して録画データを検索できなくなることがあります。時刻を編集すると、同日、同時刻の録画データが 2 つ保存されることになります。

ただし、録画データはハードディスク上に保存されていますので、前の録画データから再生することによって閲覧することができます。

ビデオ画像が表示されない

ActiveX コンポーネントがインストールされていない ActiveX コンポーネントは、Windows 上でライブビデオを閲覧するためのソフトウェアです。ActiveX コンポーネントが正しくインストールされていない場合、ビデオは表示されません。

ActiveX コンポーネントをインストールするには、Internet Explorer の [インターネットオプション] - [セキュリティ] タブを開き、現在のゾーンのセキュリティレベルを ActiveX がインストール可能なレベルに一時的に下げてください。AXIS 262+ のメイン画面にアクセスすると、ActiveX コンポーネントのインストールが行われます。

ActiveX のインストールが完了したらブラウザのセキュリティレベルを元のレベルに戻してください。

ActiveX コンポーネントのインストールを行うには、インストールするコンピュータに Administrator の権限でログオンしている必要があります。

ユーザ数が多すぎる ビデオを同時に閲覧できる最大ユーザ数は、4 です。

ネットワークの問題 AXIS 262+ はビデオの閲覧にポート 80 および 2000 を使用します。Web ページは表示されるが、ビデオが表示されない場合は、ポート 2000 がブロックされていないかどうか確認してください。

AXIS 262+ で録画を行う Axis ネットワークカメラ / ビデオサーバは、ポート 80 にアクセスする必要があります。詳しくは、ネットワーク管理者に相談してください。

AXIS 262+ はローカルに動作するが、ルータを越えて動作しない

ファイアウォールの問題 ファイアウォールの設定について、ネットワーク管理者と相談してください。
設定の問題 [システムオプション] - [ネットワーク TCP/IP] ページで、サブネットマスクとゲートウェイに正しい値が設定されているか確認してください。

手動録画が行えない

適切なユーザ権限を持っていない	Administrator、または Operator の権限を持つユーザでメイン画面にアクセスしているか確認してください。匿名アクセスの許可が行われている場合は、手動による録画は実行できません。
-----------------	---

AXIS 262+ にホスト名でアクセスできない

設定の問題	[システムオプション] - [ネットワーク TCP/IP] ページで、プライマリ DNS サーバに正しい値が設定されているか確認してください。
-------	---

画像の問題

画像が更新されない	撮影している被写体が複雑な場合は、AXIS 262+ にアクセスしているユーザ数を減らしてみてください。 十分な帯域幅が得られているか確認してください。また、お使いのコンピュータがシステム要件を満たしているか確認してください。
画像がぼやける	接続している Axis ネットワークカメラ / ビデオサーバのトラブルシューティングを参照してください。
画質が悪い	接続している Axis ネットワークカメラ / ビデオサーバのトラブルシューティングを参照してください。
画像がちらつく	接続している Axis ネットワークカメラ / ビデオサーバのトラブルシューティングを参照してください。
思うようなフレームレートが出ない	システム要件を満たしたコンピュータを使用してください。 適切な帯域幅を確保するようにしてください。 AXIS 262+、および接続しているカメラ / ビデオサーバの設定を確認してください。

交換部品

AXIS 262+ には、以下の交換部品が用意されています。

- AC 電源アダプタ : 25094 MAINS ADAPTOR AXIS 262+
- ハードディスク : 27528 HARDDISK 250GB AXIS 262+
- ファン : 25096 FAN SYSTEM AXIS 262+
- CPU ファン : 25097 FAN CPU AXIS 262+

交換部品については、Axis 製品の販売店までご連絡ください。また、Axis のホームページをご参照ください。

技術仕様

項目	仕様
ビデオ圧縮	Motion JPEG
対応カメラ	Axis ネットワークカメラ / ビデオサーバ（ファームウェアバージョン 4.15 以上を搭載）
録画フレームレート	• QVGA または CIF : 240 フレーム / 秒 • VGA または 4CIF : 120 フレーム / 秒
録画容量	250 GB ハードディスク
ビデオチャンネル	8 ビデオチャンネル
解像度	最大 1280 × 1024（接続しているカメラの最大解像度に対応、画像劣化はなし）
カメラライブビュー	AXIS 262+ からすべてのカメラのモニタが可能。
自動切換モード	ビデオソースの切換表示（1 画面または 4 画面表示）が可能。
音声サポート	全二重のライブ音声に対応（音声対応のカメラ / ビデオサーバに直接接続した場合）。ただし、音声の録音はできません。
パン / チルト / ズーム	パン / チルト / ズームのコントロールが可能（パン / チルト / ズーム対応カメラに直接接続した場合）。
アラーム録画	ネットワークカメラ / ビデオサーバからの通知、または AXIS 262+ のデジタル入力を利用したアラーム録画に対応。
アラーム録画のフレームレート	各カメラに対してスケジュール録画とは異なるフレームレートを設定することが可能。
スケジュール録画	カメラで設定した個々のスケジュールに対して異なるフレームレートを設定することが可能。
手動録画	あらかじめ定義したフレームレートを利用して手動で録画を開始することが可能。
再生	録画データの再生、高速再生、コマ送りなどが可能。
同期再生	4つのビデオソースからの録画データを特定の時刻で同期させて再生することが可能。
録画データの検索	日付と時刻を使用した録画データの検索。
AVI ファイルの保存	録画の一部を AVI ファイルとしてコンピュータに保存することが可能。
時刻の同期	AXIS 262+ の日付と時刻を Axis ネットワークカメラ / ビデオサーバに同期させることが可能。
サマータイム調整	ゾーン設定が可能。
システムアラーム通知	• 出力 1 : アラーム録画のステータス • 出力 2 : チャンネルロストのステータス • 出力 3 : ハードディスクエラー • 出力 4 : ハードディスクフル * ハードディスク / システムに問題が発生した場合に、アラーム通知の送信が可能。
セキュリティ	マルチユーザレベルのパスワード保護に対応。
コネクタ	• イーサネット 10BASE-T/100BASE-TX、RJ-45 コネクタ • ターミナルブロック : アラーム入力 × 4、出力 × 4 • RS-232 : UPS（無停電電源装置）接続のためのシリアルコネクタ × 1

項目	仕様
プロセッサ、メモリ	• CPU : VIA C3 • メモリ : 256 MB • フラッシュメモリ : 128 MB
電源	12 V DC、最大 50 W (通常 40 W)
動作環境	温度 : 5 ~ 40°C、湿度 : 20 ~ 80% RH (結露不可)
対応言語	英語、ドイツ語、日本語 (使用する言語を自動的に検出)
インストール、管理、メンテナンス	AXIS IP Utility (IP アドレスの設定用ユーティリティ)、Web ベースのセットアップツール、HTTP を利用したファームウェアのアップグレードに対応。
コンピュータのシステム要件	• CPU : Pentium 4、2 GHz 以上、または同等の AMD。 • メモリ : 512 MB 以上。 • グラフィックカード : AGP、Direct Draw、32 MB 以上のビデオメモリ。 • OS : Windows XP (Professional Edition) • その他 : DirectX 9.0 以上、Internet Explorer 6.0 以上。
対応プロトコル	HTTP、TCP、SMTP、DHCP、ARP、DNS、NTP。
付属品	• 外部電源 (12 V DC) • 電源ケーブル (ドイツ、イギリス、日本向け) • インストールガイド • Axis Network Video Product CD
認可	• EMC: EN55022: 1998 Class B • EN61000-3-2 • EN61000-3-3 • EN61000-4-2 • EN61000-4-3 • EN61000-4-4 • EN61000-4-5 • EN61000-4-6 • EN61000-4-11 • EN 55024:1998, VCCI • VCCI: Class B • Safety: EN60950
サイズ、重量	• 高さ : 72mm、幅 : 310mm、奥行 : 290mm • 重量 : 5 kg (外部電源を除く)

すべての仕様は予告なく変更されることがあります。